

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月10日
14時14分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010100	地域医療推進室休日急病診療所
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00625	休日急病診療所事務事業									
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり									
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり									
細節	30	地域医療体制の整備									
予算事業	10533	01	04	01	13	02	01	01	休日急病診療所事務事業（休日急病診療所費）		
所属長	中矢典男							担当者（内線）安井寿行（IP45-310-2476）			
根拠法令等	医療法、吹田市立休日急病診療所条例										
事業開始年度	昭和53年度	直近の改正		平成26年度							
改正内容	平成27年2月22日付けで、「出口町19番2号（総合福祉会館4階）」へ移転し、暫定運用している。										
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）										

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	日曜日、国民の祝日及び年末年始の昼間における内科、小児科、外科、歯科の急病患者。		
目標	日曜日、国民の祝日及び年末年始の昼間における内科、小児科、外科、歯科の急病患者を対象に診療を行うことで、市民の健康な暮らしを守ることを目的とする。		
結果	急病患者の診療体制を確保し、誰もがその症状に応じ適切な医療を受けられることで、市民が安心して安全に暮らすことができる。		
事業概要	吹田市立休日急病診療所は、日曜日、国民の祝日及び年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、昼間における内科、小児科、外科、歯科の4診療科の急病患者に対して、応急的な医療を市民の皆様提供している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		(千円)
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	58,890	59,808	60,796	62,996	60,789
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	20,130	19,558	19,863
総事業費(A+B)	75,230	75,608	80,926	82,554	80,652
特定財源(C)	36,719	41,797	37,657	48,458	41,205
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	36,719	41,797	37,657	48,458	41,205
市負担(D)	38,511	33,811	43,269	34,096	39,447
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	38,511	33,811	43,269	34,096	39,447
財源計(C+D)	75,230	75,608	80,926	82,554	80,652

所属	地域医療推進室休日急病診療所
事務事業番号	00625

2頁
平成30年 8月10日
14時14分07秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受診者数	人	目標値	4,700.00	4,700.00	4,800.00
			実績値	4,842.00	5,345.00	
			達成度(%)	103.00	113.70	
目標値の 積算方法	受診者見込み数 (平成30年度からは過去3年間の平均)	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	15.62	15.45	
			一般財源 (千円)	6.98	6.38	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動 内容	目標
成果 内容	達成 状況
日曜日・国民の祝日及び年末年始に急病患者の診療体制を確保することで、開業医が休診の場合も、誰もがその症状に応じた適切な医療を受けることができる。	市民が安心して安全に暮らすことができる。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(インフルエンザ等の流行状況により増減はするが、概ね予算の範囲内で運営できているため。) 【指標数値の評価】 指標数値の推移や初期救急医療施設設置の意義を踏まえると、事業成果は概ね妥当だが、今後は医療事務システム導入等の業務改善の検討が必要である。 【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるが、実施方法の検討など、更なる業務改善を行いながら事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	休日急病診療所	事業名	休日急病診療所事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	00625				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	休日急病診療所	事務事業番号	00625
-----	---------	--------	-------

2018/8/21 14:26

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☐ 主要な政策課題としての取組	☐ 部として重点的な取組	☒ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	(1)妥当性 開業医が休診の日曜日、国民の祝日及び年末年始の昼間における内科、小児科、外科、歯科の急病患者を受け入れることで、市民が安心・安全な生活を送ることができることから、本事業の意義はあるものとする。 (2)有効性 一定の患者数を確保できていることから本事業の有効性がうかがえる。 (3)効率性 二次医療機関と連携することで効率的な医療提供体制を整えている。 (5)持続可能性 初期救急医療機関として、より効率的な運営を目指して業務改善に取り組んでいる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1 頁
平成30年 5月30日
17時59分56秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010100	地域医療推進室休日急病診療所
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01667	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業										
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり										
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり										
細節	26	保健事業の推進／健康危機管理										
予算事業												
所属長	中矢典男							担当者（内線） 安井寿行（IP45-310-2476）				
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法、吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画											
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		なし								
改正内容												
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）											

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	新型インフルエンザ等大流行時に、新型インフルエンザ等に罹患した急病患者に対応する吹田市立休日急病診療所の職員。		
目標	新型インフルエンザ等に罹患した急病患者からの感染を防ぐための一定の備蓄量を確保する。		
結果	新型インフルエンザ等に罹患した急病患者からの感染を防ぐことにより、継続した医療を提供することができる。		
事業概要	平成26年8月に策定された「吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、新型インフルエンザ等に罹患した急病患者からの感染を防ぐための物資を備蓄することにより、新型インフルエンザ等が突発的に発生した場合も継続して医療を提供する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
□ その他	内容		

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	163	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	163	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	163	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	163	0	0	0	0
財源計(C+D)	163	0	0	0	0

所属	地域医療推進室休日急病診療所
事務事業番号	01667

2頁
平成30年 5月30日
17時59分56秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		個	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		本	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動 内容	新型インフルエンザ等患者からの感染を防ぐための物資の備蓄。	目標	突発的に発生した新型インフルエンザ等患者からの感染を防ぐための一定の備蓄量を確保する。
成果 内容	新型インフルエンザ等患者からの感染者を防ぎ、継続した医療を提供する。	達成 状況	市民が安心して安全に暮らすことができる。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(勤務人数及び耐用年数を考慮し備蓄計画を立てている。) 【今後の方向性】 現状において事業費は適切であるが、感染症の流行による受診者数の急激な増加にも対応ができるよう、備蓄量の精査・検討を行いながら、今後も事業を継続すべきである。

事務事業分析シート

所属名	休日急病診療所	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	その他
事務事業番号	01667				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。				
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。				
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点			
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。				
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点			
(2)	有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。				
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。				
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点			
(3)	効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。				
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点			
			①単位当たりコストは適正ですか。				
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点			
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。				
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。				
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点			
(5)	持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。				
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点			
			②サービスの水準は適正ですか。				
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点			
			③適正な受益者負担を求めていますか。				
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点			
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。				
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。				
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点			
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点			
			評価点合計 (100点満点)		82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	休日急病診療所	事務事業番号	01667
-----	---------	--------	-------

2018/6/716:33

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	☐ 主要な政策課題としての取組 ☐ 部として重点的な取組 ☒ その他
(2) 各視点からの評価結果	
(3) 現状分析	(1) 妥当性 休日急病診療所勤務者が新型インフルエンザ等に罹患しないことが事業継続に必要であるため、本事業の実施意義はあるものと考えられる。 (2) 有効性 備蓄計画に基づき一定の備蓄量は確保されているものの、感染症の流行による急激な受診者増に対応できるよう、備蓄量の精査と、追加購入の検討が必要と考える。

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1 頁
平成30年 5月30日
17時50分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010100	地域医療推進室休日急病診療所
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01674	休日急病診療所移転整備事業										
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり										
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり										
細節	30	地域医療体制の整備										
予算事業												
所属長	中矢典男										担当者（内線） 安井寿行（IP45-310-2476）	
根拠法令等												
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし									
改正内容												
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）											

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	現在、総合福祉会館4階にて暫定的な運営を行っている吹田市立休日急病診療所の恒久的な移転先である「おおさか・すいたハウス」。		
目標	「おおさか・すいたハウス」の購入及び改修を行い、平成31年度末開設を目指す。		
結果	吹田市立休日急病診療所を恒久的に運営する施設を確保することにより、吹田市民に安定した一次救急医療を提供することができる。		
事業概要	現在、吹田市立休日急病診療所は、総合福祉会館4階にて暫定的な運営を行っているが、一次救急医療の分布や感染症対策等の観点から、恒久的な移転先として活用する「おおさか・すいたハウス」に移転する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	
		交付先②	
□ その他		交付先③	
		内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	161,329	158,277	6,929
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	161,329	158,277	6,929
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	161,329	158,277	6,929
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	161,329	158,277	6,929
財源計(C+D)	0	0	161,329	158,277	6,929

所属	地域医療推進室休日急病診療所
事務事業番号	01674

2頁
平成30年 5月30日
17時50分49秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動 内容	吹田市立休日急病診療所の恒久的運営場所として「おおさか・すいたハウス」の購入及び改修を行う。	目標	平成31年度末移転開設。
成果 内容	吹田市立休日急病診療所を一次救急医療の分布や感染症対策等の面からも最適な施設の確保ができる。	達成 状況	吹田市立休日急病診療所を恒久的に運営する。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(予算内で事業を執行しているため。) 【進捗状況の評価】 平成29年10月に「おおさか・すいたハウス」の建物を取得し、現在、改修工事の設計業務を実施しているところであり、実施計画策定当初のスケジュールと比較して、予定どおり順調に進んでいる。 【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、今後も事業を継続すべきである。

事務事業分析シート

所属名	休日急病診療所	事業名	休日急病診療所移転整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01674				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

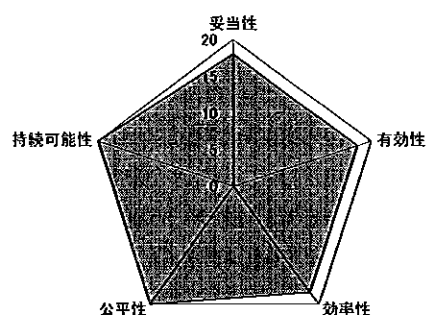
評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2)	有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
			②事業の目的と受益者が一致していますか。			
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3)	効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
			①単位当たりコストは適正ですか。			
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4)	公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5)	持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
			②サービスの水準は適正ですか。			
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
			③適正な受益者負担を求めていますか。			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
(5)	持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組をしていますか。			
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5)	持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
			評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	休日急病診療所	事務事業番号	01674
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☐ 主要な政策課題としての取組	☒ 部として重点的な取組	☐ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	(1)妥当性 総合福祉会館4階にて暫定的に運営を行っている休日急病診療所について、その恒久的な移転先として活用するため、平成29年10月に「おおさか・すいたハウス」の建物を取得し、平成31年度末の開設に向け、現在、改修工事の設計業務を実施しているところであり、予定通り事業を進める必要がある。 (2)有効性 現在、事業は目標通り進行している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--